

2019年12月23日

アジア開発銀行による KM 訪日支援報告の件 ご報告

■ 概略

アジア開発銀行の KM 担当である Senior Evaluation Specialist、エリック・ブーム氏が訪日し、国内における KM 実践をヒアリングに來られました。KMSJ は KMGN(KM 海外グローバルネットワーク)の創設メンバーであるタイ・バンコク大学大学院 KM 学科のビンセント・リビエラ教授より、訪問先のコンタクトなどについての支援を依頼されました。尚、本件は海外担当理事の山崎が海外経験の深い広報理事二名（荒木、町井両氏）の協力を得て推し進めました。

また同行訪日に当たっては個人会員の木村様にはエーザイ株式会社様へのコンタクトなど大変お世話になりました。また同社の鎌田副部長、同社部長の高山様（弊学会理事）にもお忙しい中、大変お世話になったこと申し添えます。

■ 訪日の経緯

2019年10月10日

KMGN のタイ、ビンセント教授よりアジア開発銀行の訪日サポートを依頼される。

尚、同行に対してはタイ、ビンセント教授が継続的に KM 支援をしており、今回の同行の興味は暗黙知であるため、日本訪問を決めた経緯がある。KM の理論的なものよりも実践面やコンサルティングサービス面に興味があるとのこと。

2019年11月18日

アジア開発銀行より12月16日-18日に訪日すると回答を得る。

2019年12月11日

アジア開発銀行より、12月19-20日に訪日すると変更の旨回答あり。

2019年12月19日

アジア開発銀行のエリック・ブーム氏が16時半ごろエーザイ社を訪問され、同社鎌田副部長よりご対応いただく。企業理念と hhc driven innovation 活動について大変関心をもっておられる様子で、とても満足頂いたようであったとのこと。「アジア開発銀行の縦割り組織に関して課題を抱えていらっしゃるようで、知識創造理論や弊社のお話が少しでもお役に立てたのであれば幸甚」とのメールが鎌田氏から届く。

2019年12月21日

国内 KM 実務家との情報交換ミーティングに関しては、何人かに声をかけさせていただいたが、21日は土曜日であることに加え、急な変更のために予定が立たず、荒木理事と山崎の二人でエリック氏の滞在した ANA インターコンチネンタルホ

テルでミーティングを持った。やはり縦割り組織故、ナレッジシェアリングが上手くいかないと述べていた。同席した荒木理事は村上理事の LIXIL 社による KM を盛んに褒めていた。

ともあれ KMGN 関連からの依頼案件が一件落着し、無事年の瀬を迎えてほっとしております。

以上



文責：海外担当理事 山崎秀夫
協力：広報担当理事 荒木聖史
レポート編集：広報担当理事 町井美也子

■参考リンク

KMGN The Knowledge Management Global Network

<https://kmglobalnetwork.net>

Asian Development Bank

<https://www.adb.org/ja>



→以下、ADB の KM 取り組みの一部をご紹介します

<https://www.adb.org/projects/50065-001/main>

<https://www.adb.org/publications/future-search-conferencing>

<https://www.adb.org/publications/knowledge-behaviors>

<https://www.adb.org/publications/decision-making>

<https://www.adb.org/publications/knowledge-culture>

<https://www.adb.org/publications/managing-knowledge-project-environments>

<https://www.adb.org/publications/internal-knowledge-markets>